

# VMware vSphere と vSphere with Operations Management

次世代のアプリケーションに最適な次世代のインフラストラクチャ

## 概要

業界をリードする仮想化プラットフォームである VMware vSphere® は、シンプルなユーザー環境、組み込みの包括的なセキュリティ機能、ユニバーサルアプリケーションプラットフォームを提供して、デジタルトランスフォーメーションを推進します。vSphere を使用すると、あらゆるクラウド環境で理想的な基盤となる、可用性と耐障害性に優れたオンデマンドインフラストラクチャを実現できます。

VMware vSphere® with Operations Management™ は、インテリジェントな運用管理機能を備えた仮想化テクノロジーにより、導入したその日からインフラストラクチャとアプリケーションで最高レベルのパフォーマンス、可用性、効率性を実現するように設計されており、お客様独自のビジネスニーズに応えます。

## 主なメリット

- あらゆるアプリケーションをあらゆるタイプのクラウドで実行可能
- 効率化された管理性
- シンプルな運用とポリシーベースのセキュリティ
- インテリジェントな運用管理と自動化
- IT インフラストラクチャの管理コストを 53 % 削減
- 最重要アプリケーションのダウンタイムを 54 % 短縮
- 1 年間で投資回収率 (ROI) を 2.4 倍向上
- 視認性、可用性、キャパシティ使用率、IT に対するユーザーの満足度を 30 % 向上



業界をリードする  
仮想化プラットフォーム



使いやすい  
統合運用管理機能

インテリジェントな運用機能を備え、非常に信頼性の高い業界をリードするプラットフォームです。

## vSphere と vSphere with Operations Management について

業界をリードする仮想化プラットフォームである VMware vSphere は、ビジネスの俊敏性を実現する強力で柔軟性に優れた安全な基盤を提供して、クラウドコンピューティングへの移行を促進し、デジタルエコノミーにおける成功をもたらします。vSphere は、(1) 大規模な自動化および管理を可能にするシンプルなユーザー環境、(2) データ、インフラストラクチャ、アクセスを保護するための包括的な組み込みのセキュリティ機能、(3) あらゆるアプリケーションに対して最適な実行環境を提供するユニバーサルアプリケーションプラットフォームによって、既存のアプリケーションと次世代のアプリケーションの両方に対応します。vSphere を使用することで、利用するクラウドやデバイスのタイプを問わずに、共通の運用環境でアプリケーションを実行、管理、接続、保護することが可能です。

VMware vSphere with Operations Management は、環境のより詳細な情報と優れた IT サービスを提供することで、多様なビジネスニーズを満たすように設計されています。高い可用性、包括的かつ一元的な視認性により、アプリケーションからストレージまでをインテリジェントに運用することで、パフォーマンスを高め、システムの中断を回避します。また、ワークロードの配置とリソースの最適化を条件に応じてセキュアに自動化することで、ビジネス上の重要タスクにより多くの時間を費やすことができるほか、事前に設定されたカスタマイズ可能なテンプレートを使用して制御を強化することも可能です。

## バージョン 6.5 の新機能

- **拡張性の強化**：構成の上限値が拡張され、非常に大規模なアプリケーション環境にも対応します。
- **VMware vCenter Server® Appliance**：vSphere を一元的に管理する、中核となる構成要素です。
- **vCenter Server® High Availability**：vCenter Server のネイティブな可用性ソリューションです。
- **vCenter Server Backup and Restore**：vCenter Server のネイティブなバックアップおよびリストアソリューションです。
- **vCenter Server Appliance ツール**：既存の vCenter Server を単一のステップで vCenter Server Appliance に移行およびアップグレードできます。
- **REST API**：シンプルで使いやすい最新の API です。
- **vSphere Client**：優れたパフォーマンスとクロスプラットフォームの互換性を保証する、HTML5 ベースの GUI です。

- **ポリシー ベースのセキュリティ**：ポリシー ベースのセキュリティにより、シンプルな操作でインフラストラクチャを保護できます。
- **暗号化**：仮想マシン レベルの暗号化により、保存時と運用時の両方で、不正アクセスからデータを保護します。
- **監査に使用できるログ記録**：ログ機能の強化により、ユーザー アクションに関する詳細情報を提供します。
- **セキュア ブート**：イメージが改ざんされていないことを確認し、不正なコンポーネントのロードを防止することによって、ハイパーバイザーとゲスト OS の両方を保護します。
- **vSphere Integrated Containers™**：コンテナ用の仮想インフラストラクチャ プラットフォームです。
- **Proactive HA**：サーバーの健全性に関する情報を使用し、問題が発生する前に、パフォーマンスが低下したホストから仮想マシンを移行する、高可用性機能です。
- **Cross-Cloud vMotion®**：VMware ベースのクラウド間でワークロードのライブ マイグレーションを実行します。
- **Virtual Volumes™ Replication**：ネイティブなアレイ ベースの仮想ボリュームのレプリケーションを実行します。

エディション	vSphere Standard	vSphere Enterprise Plus	vSphere with Operations Management Enterprise Plus
ユースケース	データセンター ハードウェアを統合し、サーバー仮想化、仮想マシン対応ストレージ、ライブ マイグレーションの各機能を通じて、ビジネス継続性を実現します。クラスタの境界を超えてデータセンターのリソースを共有し、エンドポイントの保護を強化して仮想環境のセキュリティを向上させます。	vSphere を使用してアプリケーションのパフォーマンスと可用性を向上させることで、ビジネスの生産性を高めることができます。リソース管理を制御できるほか、ワークロードのロードバランシングを行い、リソースへのアクセスに優先順位を設定することで、重要度の高いアプリケーションのパフォーマンスを最大化できます。また、仮想環境でのワークロードの迅速なプロビジョニングおよび展開や、稼動中の仮想マシン全体を別の物理サーバーにダウンタイムなしで移行することが可能です。	vSphere with Operations Management を使用することで、データセンターのインテリジェントな運用管理と自動化が可能です。健全性とパフォーマンスの監視および管理、キャパシティの計画と最適化、アプリケーションのパフォーマンス向上のためのワークロードのインテリジェントな配置と再調整、予測分析によるスマートアラートの生成、セキュリティ強化によるコンプライアンス確保が可能です。
<b>製品コンポーネント</b>			
ライセンス権限	1 CPU 単位	1 CPU 単位	1 CPU 単位
vSphere のエディション	Standard	Enterprise Plus	Enterprise Plus
vRealize™ Operations™ のエディション	—	—	Standard
<b>製品の機能</b>			
サーバー仮想化	○	○	○
仮想マシン対応のストレージ	○	○	○
API およびポリシー ベースのストレージ機能	○	○	○
ワークロードのライブマイグレーション	仮想スイッチ間	vCenter Server 間 / 長距離間 / クラウド間	vCenter Server 間 / 長距離間 / クラウド間
仮想マシンとデータの保護	○	○	○
システムの連続稼動を維持	○	○	○
データセンターのリソースの共有	○	○	○

エディション	vSphere Standard	vSphere Enterprise Plus	vSphere with Operations Management Enterprise Plus
エンドポイント セキュリティ	○	○	○
Fault Tolerance	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 4 個分	仮想 CPU 4 個分
Proactive HA		○	○
仮想マシン レベルでの暗号化		○	○
vSphere Integrated Container		○	○
ネットワークの統合管理		○	○
ロードバランシング		○	○
仮想マシンへのリソース 割り当ての優先順位付け		○	○
迅速な展開とプロビジョニング		○	○
仮想マシン向けグラフィック 機能強化		○	○
健全性監視と パフォーマンス管理			○
キャパシティのプランニングと 最適化			○
インテリジェントな ワークロードの配置と再調整			○
自己学習型の予測分析			○
セキュリティ強化による コンプライアンス確保			○

## 詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、Web サイト (<http://www.vmware.com/jp>) をご覧ください。製品の仕様とシステム要件の詳細については、[vSphere と vSphere with Operations Management](#) のドキュメントを参照してください。

